

シャープファイナンスの
カーリース



SHARP FINANCE

CAR LEASING



こんなお悩み、ありませんか？

事故の時すぐに動画を
確認できないかな？

今車がどこにいるか知りたい！

手書き日報をやめたい

安全運転してるかな？



ドラレコ映像、全部を見
るのは手間がかかるな。。

これ1台で解決できます！！

安全運転管理テレマティクスサービス

通信型ドライブレコーダー『G500Lite』

通信型ドライブレコーダー
G500Lite



携帯網通信

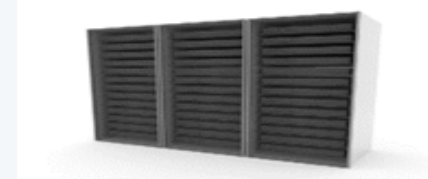


運行データ、映像データ
ヒヤリハット地点データ

PC



クラウドサーバー



インターネット

G500Liteは、通信機を搭載したドライブレコーダーで、さまざまな情報を送受信できます。

管理者が車両の運行状況をリアルタイムで確認したり、事故発生時に管理者に通知し、

ブラウザ経由でドラレコ映像をすぐに確認することもできます。

また、運行情報を分析し、安全性や、燃費の向上、

業務の効率化にも役立ちます。

詳しくは裏面に⇒

G500Liteの主な特長

■ 必要な時にすぐに映像確認

強い衝撃を検知した際は全ての映像を自動送信しますので、
すぐに現地の状況をご確認頂けます。

< イベント映像自動送信 >

0.6G以上の強いGを検知時は自動で10秒間の映像を送信
(件数制限なし) ※0.6G：シートベルトがロックする衝撃
(カバンが椅子から落ちる)

< イベント映像リクエスト送信 >

通常のG検知時の映像はリクエストをかけて10秒間の映像を送信可能
(件数制限：契約台数×6件/月)

< ライブ映像 >

現在の車両の状況を10秒間、閲覧が可能
(フレームレート：1秒に1回)

イベント映像(検知前5秒/後5秒)で状況確認



- 要注意ドライバーの抽出と指導ポイントの把握を一画面で実現
- 走行ルート確認機能
- 危険運転をリアルタイムに通知
- 安心のアフターサービス
 - ・ 5年保証 (SDカード除く)
 - ・ コールセンターのサポート (平日 9:00~17:00)
- e-learning機能
- 運転日報

G500Liteを導入し、保険料が下がった事例も！！

～某メーカー系 A 社営業車両での導入事例～

SDカード型ドラレコを活用していたが、事故が減らず悩んでいた。結果、保険料も上がったため、将来的な事故・経費削減のため、作業用車両にG500Liteを導入。

< 導入効果事例 > (2017年度、2018年度比較) 車両：20台

	2017年度 (導入前)	2018年度 (導入後)	効果
事故件数	5件	0件	▲5件
車両保険費用	約390万円	約290万円	▲約100万円

【ポイント】 ドライバーの安全運転への意識が変わり、大幅に事故件数を削減でき、車両保険料を減少。

また、ランキング/診断など危険運転の見える化により継続的な効果が得られている。

※機器の導入により、保険料が下がることを保証するものではありません。